

「雛のつるし飾り」の謂れ

這い子人形：這えば立て、立てば歩めの親心。この健やかな成長を願います。

花：花のように美しく

枕：寝る子は育つの言い伝え

草履：早く「あんよ」ができるように

俵ねずみ：大黒さんのおつかいであるネズミは金運や靈力があるとされます。子どもをたくさん産んで働き者になるように俵は五穀に不自由しないように

雉(きじ)：「焼け野の雉」と言われたように我が子のために命をかける親の愛情の深さで知られる鳥

柿：滋養があり、長寿の木、厄払いの効めがあるとされています。柿が赤くなれば医者が青くなる

鶴亀：長寿の象徴

うさぎ：赤い目のウサギは呪力があるとされ、神様のお使いとも言われます

フクロウ：呪力がある。福や不苦勞にかけて

鳩：神の使いと言われる。ハトはむせないとも言われ、お乳をよく飲めるように

お手玉：遊び道具

さる：厄が去る。猿っこの伝承は全国各地にあるようです

三角：香袋。お香は貴重品で薬でもありました。

着物：裁縫が上手になるように。

ほおずき：胃薬として伝わった

とうがらし：虫除けの効能があることから、娘に虫がつかないように

もも：桃の実には靈力があるとされ、邪気、悪霊を退治し延命長寿を意味します。